

令和6年度 第2学期始業式 式辞

みなさん、おはようございます。充実した夏休みでしたか？家族との時間は過ごせましたか？

大きな事故の報告はなく、2学期を迎えられたことを嬉しく思います。当たり前と思うかもしれませんが、当たり前ではありません。みなさんも、夏休み中に、水難事故、交通事故等の全国ニュースを耳にしたと思います。今後の人生の中でも、これらのことはずっと注意しなければならないことです。

夏休み中の補習、3年生の勉強合宿、野球部の県ベスト8進出、全国総文祭、北部九州インターハイ（柔道部矢間くんはベスト16!）、NHKコンテスト、新チーム・新メンバーでの練習等、酷暑の中、よく頑張りました。この暑さをどう克服し、どのように付き合っていくか、また、今回の台風のように自然災害とどう向き合うかは、今から生きる皆さん・我々にとって、大きな課題になります。人任せではなく、自分事として自分で考えられる人になりましょう。

そのような中で、体育大会がやってきます。長い間継続している学校行事には、大切な意味があります。暑い、しんどい、苦しいと感じる場面があるでしょうが、そこには人として成長できる何か必ずあります。最近、オリンピックの感動が薄れてしまうくらい、某リーダーの言動が話題になっています。本当に強い人は強そうにしませんし、本当に偉い人は、偉そうにしません。今後、社会人として活躍するであろう北高の皆さんには、勉強だけでなく、+αの経験が人として大事であることを知ってほしいです。学校行事や特別活動には、+αの要素がとて多く含まれています。ぜひ積極的に取り組んで、自分自身の人としての成長に繋げてください。

3年生にとっては、体育大会と並行して、進路実現に向けての戦いが始まってきます。これは、言わば、地区予選のない、いきなりの全国大会です。どんな強い相手が隣に来て、自分の力を発揮できるよう準備してください。具体的には、日々の勉強や模試、練習を“緊張して（緊張感を持って）”取り組むことが大切だと思います。日頃をいい加減にする人は、強い相手を前にすると緊張して（びびって）力を発揮できません。日頃緊張感を持って努力・工夫できている人は、入試や就職試験本番でも普段通り臨めます。

2年・1年のみなさん、進路実現に向かう姿勢や、体育大会に取り組む先輩の姿をしっかり目に焼き付け、多くの憧れられる人と出会ってください。皆さんの周りには、偉大な先輩がたくさんいます。人との出会いが皆さんの人生を豊かなものにします。人の縁はどこにあるかわかりません。良い人に出会い、その人の行動を真似ることで、自分の進むべき道が見えてくるかもしれません。

最後に、この夏休みにいろいろあって、勉強や部活動や学校生活がしんどくなっている人がもしいたら、“しんどい！”と迷わず言ってください。助けを求めてください。私は

いつも教頭先生をはじめ先生方や事務室の皆さんに“助けて！”と言っています。どうか一人で悩み事を抱えないでください。北高の先生方は必ず相談にのってくれます。

それでは、新鮮な気持ちで、全員で、明るく、前向きに、助け合って2学期を頑張りましょう！以上、式辞と致します。